

博多湾環境保全計画の改定の方向性について

博多湾が目指すべき将来像 “生物が生まれ育つ博多湾”

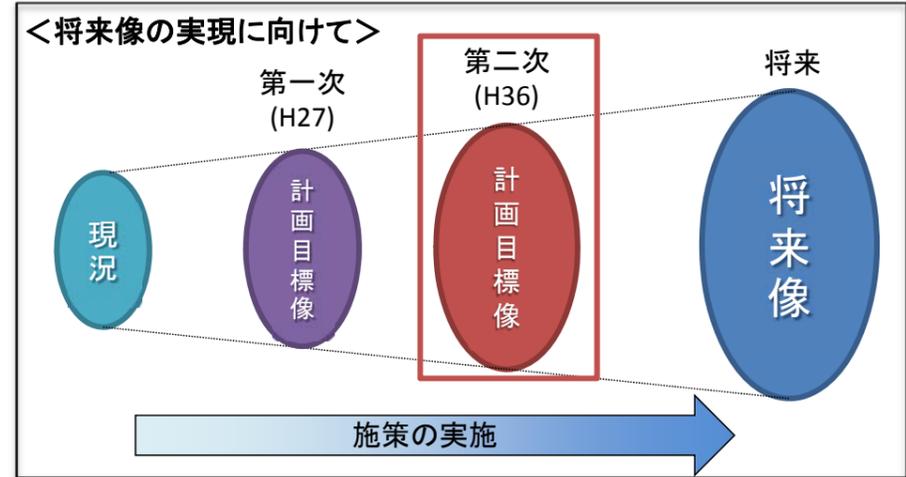
博多湾においては、水質が環境基準を達成しているとともに、生物の生息・生育に適した水質・底質環境が成立し、多様な生物が生活史を通じて保全されています。

また、漁業等による健全な物質循環が行われ、生態系が維持されています。

さらに、市民の環境保全活動の場・市民と自然とのふれあいの場として利用されています。

改定の
考え方

- 博多湾の将来像・計画の視点は、現行計画を引き継ぐ。
- 平成36年度の計画目標像は、モニタリングの検証結果をふまえて見直す。
⇒現行の計画目標像を達成した海域は、さらに将来像に近づけていく。
⇒現行の計画目標像が非達成の海域では、施策を強化していく。



赤字：平成27年度目標像からの変更箇所

	現行計画(H27目標像)	モニタリング結果	評価	問題点	課題	H36目標像(案)	施策(例)
博多湾全域	有機汚濁の指標のひとつである化学的酸素要求量(COD)や富栄養化の指標である栄養塩(窒素,リン)が環境基準の達成に向け低減傾向にあるとともに、窒素・リンの濃度およびそのバランスが生物の生息・生育に適した状態に改善されつつあること	<ul style="list-style-type: none"> CODは環境基準は達成していないものの、低減傾向。 窒素,リンは環境基準を達成。 窒素,リンの濃度やバランス(N/P比)は横ばいだが、冬季のリン不足等による漁業生産への影響が懸念されている。 	一部非達成	<ul style="list-style-type: none"> CODの環境基準非達成 夏季の赤潮発生 冬季の栄養塩不足 河川からの負荷量の減少傾向 生きものの減少 	季節別の栄養塩の物質循環を健全化し、基礎生産を向上させる	有機汚濁の指標のひとつである化学的酸素要求量(COD)が環境基準の達成に向け低減傾向にあるとともに、 生物の生息・生育に適した栄養塩の物質循環に改善されること	下水の高度処理の推進 漁場環境の整備(海底ごみの回収等) 西部水処理センターにおける季節別運転管理(実験)の継続
岩礁海域	西部海域から西戸崎・志賀島周辺にかけての岩礁海域では、藻場が適地に広がり、稚仔魚の生育環境が保全されていること	<ul style="list-style-type: none"> 志賀島,能古島,今津の岩礁域では海藻・海草類の出現種数に大きな変化はない。 志賀島,能古島のアマモ場では、魚類等の生息が継続的に確認。 	達成	<ul style="list-style-type: none"> 夏季の高水温による藻場の減少 	高水温等の生育状況の変化でも、自然回復できる生育環境を確保するため、藻場の多様性を維持する	多様で豊かな海藻・海草類が生育し、その生育域が広がり、稚仔魚が育つ生息環境が保全されていること	藻場の保全・再生
干潟域	和白干潟や今津干潟をはじめとする干潟域では、底質などの干潟環境が改善され、稚エビ、稚仔魚、アサリ、カブトガニ等の干潟生物の生育の場、産卵の場が増えていること	<ul style="list-style-type: none"> 今津干潟では、カブトガニの産卵場が整備され、卵塊・幼生が確認されている。 和白干潟では、干潟生物の種数は経年的に横ばい。 室見川河口干潟では、アサリの生息の変動が大きい。 	一部非達成	<ul style="list-style-type: none"> 気候変化によるアサリの減少 アオサの堆積等による一時的な干潟生物の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な生物の生活史を通じた生物生息環境を保全する 干潟環境を改善するため、干潟につながる森林や河川の環境保全に努める 	底質などの干潟環境が改善され、稚エビ、稚仔魚、アサリ、カブトガニ等の干潟生物が 産卵し育つ生息 の場が増えていること	干潟保全活動の推進 河川の清掃 市民等との共働による植林活動
砂浜海岸	身近な親水空間として、良好な環境が保全されていること	<ul style="list-style-type: none"> 海岸清掃により、良好な環境が保全されている。 	達成		生物生息の場を維持する	水と触れ合う親水空間や、砂浜に生息・生育できる生物の場所 として、良好な環境が保全されていること	海岸清掃の推進 人工海浜の維持管理
浅海域	浅海域の一部では、水底質や貧酸素状態が改善されつつあり、市民の親水空間が確保されていること	<ul style="list-style-type: none"> 底質環境は横ばいで推移。 年変動はあるものの、継続的に貧酸素水塊が発生。 底生生物は、毎年、貧酸素水塊の影響による種数や湿重量の一時的な減少と、貧酸素解消後の回復が繰り返されている。 	非達成	<ul style="list-style-type: none"> 夏季の貧酸素発生 貧酸素水による一時的な底生生物の減少 	貧酸素水の影響を低減し、生物の生活史を通じた生物生息環境を保全する	水質・底質 や貧酸素状態が改善され、 稚仔魚や底生生物の生息環境が保全 されていること	浅場や藻場の造成 窪地の埋戻し 海底ごみの回収
港海域	港湾機能を有しながら、親水空間が確保されていること	<ul style="list-style-type: none"> エコパークゾーン整備事業等により、親水空間が確保されている。 	達成		生物生息の場を維持する	港湾機能を有しながら、 見て触れ合う親水空間や生物生息・生育の場 が確保されていること	生物生息環境の創出 親水空間の整備 海域清掃の推進